

## 卒論演習 I (2016)

### [日程]

- 4.11 : はじめに
- 4.18 : 経過報告(4 人)
- 4.25 : 経過報告(3 人)
- 5.9 : 文献報告 1-1 (3 人)
- 5.16 : 文献報告 1-2 (2 人)
- 5.23 : 休講
- 5.30 : 文献報告 1-3 (2 人)
- 6.6 : 文献報告 2-1 (3 人)
- 6.13 : 文献報告 2-2 (2 人)
- 6.20 : 文献報告 2-3 (2 人)
- 6.27 : 文献報告 3-1 (3 人)
- 7.4 : 文献報告 3-2 (2 人)
- 7.11 : 文献報告 3-3 (2 人)
- 7.18 : 発表 (1 限~4 限、除く 3 限)
- 7.25 :

### [経過報告]

- ・ 1 月の報告その後 : 問題意識では以下を明確に !
  - どのような研究・体験をこれまでにしてきたのか→どのような問題意識で、何を研究したいのか→何を明らかにしたいのか→その研究の意義はなにか

### [文献報告] 内容と位置づけ : 報告の本数は任意、必ず 1 本以上英語論文を含めること

- ・ 以下の観点に留意しながら資料を集め、内容を吟味し、報告すること
  - 1) テーマにかんすること : 学術書、学術論文、一般書
  - 2) 理論にかんすること : 学術書 (入門編~専門編)
  - 3) 方法にかんすること : 学術書、学術論文
  - \*理論とは、使用する枠組みや理論にかんする文献 (ゼミ内では常識的な知識でも、論文内で使用する場合、論文で説明する必要があるので、きちんと使用文献をおさえておくとうい)
  - \*テーマ、方法にかんしては、自分のテーマと関連のある他分野の研究、あるいは同分野内でテーマは異なるが、方法論が参考になる研究も調査すると、自分の研究の意義が明らかになりやすい。
- ・ 内容吟味とは : 論文・本の正確な内容把握と自分の見解 (賛成・反対・参照・応用等)

### [発表]

- ・ 概要 : テーマ+問題意識・目的 (第 1 章に相当) +アウトライン (目次プラスアルファ)

\*\*\* 本年度卒業予定者は、卒論演習 I と卒論演習 II、2 つとも前期に履修登録すること !

## 卒論演習 II (2016)

後期の予定

☆発表 1 (データ分析と考察を中心に)

9.26 ①

10.3 ②

10.10 ③

☆発表 2 (データ分析と考察を中心に全体像)

10.17 ①

10.24 ②

11.7 ③

☆論文原稿添削と返却 (一人 2 回)

- 1) 指定日の前週の金曜日 16:00 までにワードファイルを送付
- 2) 下記の日程で添削済み原稿を返却
- 3) 質疑応答、説明・解説等

11.14 ①

11.21 ②

11.28 ③

12.5 ①

12.12 ②

12.19 ③

☆英文要旨の書き方

12.5 英文要旨の書き方説明

☆卒論提出

要旨の形式、提出票、提出方法等はポータルサイトの情報をみてください。  
必ず初日に提出すること！

\*大学に提出する要旨には、参考文献を載せません。要旨のみです。

\*論文集掲載の資料情報は紙幅の都合で一部割愛している場合があります。

☆卒論発表会 (1 月末 : 1 月 27 日(金)午後を予定)